

精神保健福祉援助実習

【担当教員名】 吉田光爾、松本京介	対象学年	4	対象学科	作業・社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	6	時間数	270（うち現場実習180時間）

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

現場体験を通して精神保健福祉士として必要な専門知識・技術ならびに関連知識の理解を深め、精神障害者への相談援助及びリハビリテーションに関する資質・能力・技術を習得する。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：SBO＞】

1. 精神障害者の支援に必要な保健・医療・福祉の総合知識を統合的に理解できる。
2. 精神病院・社会復帰施設・保健所・精神保健福祉センターなど、実習先に関する事前学習を行い、それぞれの根拠法令、対象者、機能、職員構成などについて把握できる。
3. 実習目標とそれを達成するための具体的課題・方法を明確化することができる。
4. 配属先において精神障害者がおかれている現状を理解し、その生活の実態やニーズについて把握するとともに、職員の役割と援助関係のあり方並びに関係者・機関・社会資源との関わりについて理解することができる。
5. 秘密保持や権利擁護などの職業倫理に基いた行動を実践し、精神保健福祉援助の価値・倫理を具体例を通して理解できる。
6. 実習体験をもとに実践場面における態度・行動を客観的に振り返り、自己の課題を明確化することができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO
		番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員
	【オリエンテーション】 【事前学習】 精神保健福祉に関する基本的な理解 実習先の理解 見学学習（精神病院・社会復帰施設） 個人票作成 実習課題の検討と達成課題の確認 実習計画書の作成 実習における心構え・留意点	全体及び個別指導
	【現場実習】 5月から9月 配属先 及び 日程は別途伝えます。	担当教員による巡回指導
	【事後学習】 実習目標の達成度の評価 実習内容の振り返り 解決すべき自己の課題の整理 精神保健福祉士としての基本的姿勢・技術の学習を深める	全体及び個別指導
	【実習報告会】	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	実習生のためのPSW実習ハンドブック 牧野田恵美子他編集 へるす出版 2002年 3,150円			
その他の資料				

【評価方法】 事前・事後学習の出席状況、授業態度、 配属先の実習状況、実習ノート その他提出物の提出状況などに応じて評価。	【履修上の留意点】
---	------------------